

平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会社名 暁 飯 島 工 業 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 飯 島 康 輔
 (J A S D A Q ・ コード 1997)
 問合せ先 取締役専務執行役員
 役職・氏名 (管理統括部長) 藤 沼 一 男
 電話 0 2 9 (2 4 4) 5 1 1 1

平成 20 年 8 月期中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 10 月 12 日付当社の「平成 19 年 8 月期決算短信」にて公表しております平成 20 年 8 月期(平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日) (単位:百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 中間純利益 |
|---------------------------------|-------|---------|---------|---------|
| 前 回 予 想 (A) | 3,700 | 60 | 20 | 20 |
| 今 回 予 想 (B) | 3,750 | 110 | 90 | 230 |
| 増 減 額 (B - A) | 50 | 50 | 70 | 210 |
| 増 減 率 (%) | 1.4 | 83.3 | 350.0 | 1,050.0 |
| (ご参考) 前中間期(平成 19 年 2 月中間期)実績 | 3,756 | 274 | 252 | 259 |

(2) 通 期(平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日) (単位:百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|---------|---------|-------|
| 前 回 予 想 (A) | 8,550 | 170 | 100 | 100 |
| 今 回 予 想 (B) | 8,050 | 220 | 160 | 280 |
| 増 減 額 (B - A) | 500 | 50 | 60 | 180 |
| 増 減 率 (%) | 5.8 | 29.4 | 60.0 | 180.0 |
| (ご参考) 前期(平成 19 年 8 月期)実績 | 8,114 | 230 | 232 | 433 |

2. 単独業績予想の修正

(1) 中間期(平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日) (単位:百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 中間純利益 |
|---------------------------------|-------|---------|---------|---------|
| 前 回 予 想 (A) | 3,700 | 60 | 20 | 20 |
| 今 回 予 想 (B) | 3,700 | 100 | 90 | 230 |
| 増 減 額 (B - A) | - | 40 | 70 | 210 |
| 増 減 率 (%) | - | 66.7 | 350.0 | 1,050.0 |
| (ご参考) 前中間期(平成 19 年 2 月中間期)実績 | 3,743 | 267 | 244 | 256 |

(2) 通 期(平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日) (単位:百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|---------|---------|-------|
| 前 回 予 想 (A) | 8,500 | 170 | 100 | 100 |
| 今 回 予 想 (B) | 8,000 | 220 | 160 | 280 |
| 増 減 額 (B - A) | 500 | 50 | 60 | 180 |
| 増 減 率 (%) | 5.9 | 29.4 | 60.0 | 180.0 |
| (ご参考) 前期(平成 19 年 8 月期)実績 | 8,091 | 225 | 227 | 428 |

3. 修正の理由

(1) 連結業績

主に単独業績予想修正に伴う修正であります。

(2) 単独業績

中間期の業績予想につきましては、売上高は、ほぼ前回予想通りとなる見込みであります。

損益につきましては、営業利益は、販売費及び一般管理費（主に人件費）の削減が期初計画以上に図れたことから、前回予想を上回る見込みであります。経常利益も、営業利益の増加に加え有利子負債の削減に努めたことから金融費用が期初計画以上に減少し、前回予想を上回る見込みであります。

また、最終損益（中間純利益）につきましても、平成 20 年 1 月 31 日付「合意による訴訟の一部和解及び特別利益の発生に関するお知らせ」にて公表しておりますとおり、貸倒引当金の戻入益（1 億円）を特別利益に計上する見込みであること並びに一般債権の減少により同引当金の戻入益（約 30 百万円）が発生することから、前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては、主に民間の建築設備事業において競争の激化及び改正建築基準法施行の影響等により、上半期の受注高が期初計画を下回っているため、下半期の売上高は期初計画より減少することが見込まれ、通期の売上高は前回予想を下回る見込みであります。損益につきましては、中間期と同様の理由から、前回予想を上回る見込みであります。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上